

平成24年度 燕・西蒲原郡の研究活動報告

会 長 海藤 英紀
副会長 齋藤 憲
鈴木 正尚
土田 敬彦
評議員 海藤 英紀

1 研究活動の方針

燕市、弥彦村が一緒になって、下記の方針の下、実践的な研究活動の推進に当たっている。

- (1) 学力調査や学習指導改善調査などの結果から、活用力や表現力を高める研究を推進する。
- (2) 会員相互で研究を深め、本郡市小学校教育の振興に寄与する。
- (3) 各研究部の特色を生かした組織的・主体的研究の推進に努める。

2 研究活動の実際

- (1) 郡市小教研総会の開催<4月18日(水) 会場：弥彦小学校>

- (2) 各研究部の活動(「郡市小教研の日」の活動)

各教科、道徳、特別活動、総合的な学習、教育課程、生徒指導、英語活動、特別支援、保健、事務、食育の19研究部を設置している。各研究部では、研究主題、研究内容、研究方法等を明確にした年間計画に基づき、授業研究、講演会、実技研修、現地視察等会員のニーズを生かした活動を行っている。

- (3) 教育講演会の開催<8月22日(水) 会場：燕市文化会館>

植松 努氏を迎え、「社会から、『どうせ無理』をなくしたい」をテーマとして、講演会を行った。植松氏は、北海道大学の大学院の永田晴紀教授と一緒にポリエチレンを燃料にした安全なロケット開発に成功した人である。

大人はよく子どもに「どうせ無理、やめたら」と言う。その言葉は、子どもの能力をだめにする。その言い方を、「だったら、こうしてみたら」という言葉がけに変えてほしいと述べている。

「元気と感動をもらった。あきらめないこと、体験を通して学ぶことの大切さを学んだ。」という感想が聞かれた。

- (4) 研究紀要の発行

各部の実践活動、研究発表校の研究内容の概要を記録として残し、研究活動の継続・充実に生かす。研究紀要第7号を刊行した。

3 郡市小教研が関係した研究会

燕市西蒲原郡小学校教育研究会主催、学習指導研修会が11月7日(水)、16校を4ブロックに分けて、研究発表及び授業公開を行った。

燕南小学校：「考える力をはぐくむ授業づくり」

～かかわり合う場の設定を通して～

燕北小学校：「かかわりながら学びを深める子どもの育成」

～算数の授業を通して～

粟生津小学校：「言葉の力を高め、主体的に学ぶ子どもの育成」

分水北小学校：「伝え合って学びを深める児童の育成」

～考えの交流をうながす授業方法の改善・工夫～